

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、しんぱら圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年10月22日（金）13時30分から15時40分まで
参加者	委員：16人 事務局：2人 関係機関：3人
場所	ふれあい交流センター浜北大・小会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 会長より挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 移動支援の活動発表及び意見交換 北浜なか地区社会福祉協議会家事支援の会の方から、活動発表をしていただく。</p> <p>【委員からの意見・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援のきっかけは何ですか。 →サロンの送迎を見て、何かできないかと思った。 買物支援の時、利用者が自分の目で見てほしいものを買いたい。自分の目で見て買えないため楽しみがない。はりがない。という利用者の言葉がきっかけになった。 その後、研修を受けやり方を工夫すれば自分達にもできると感じた。 ・財政的なものはどうですか。 →利用者にはガソリン代込みで30分300円利用料をもらっている。 1回走ると保険が1,700円かかる。その他に運転手や調整員、電話当番などに支払いがあり、移動支援は赤字で行っている。 ・財政的な課題の解決策を検討しているのか。 →会費を値上げした。 保険料を下げしてくれるのか保険会社に相談（予定） 行政でできれば少しの補助金をお願いしたい。 ・移動支援事業の利用者が増えれば、負担も増える。他の市では車を行政が購入したり、保険料を負担したりしているところもある。 ・ドライバーの基準はありますか。女性のドライバーはいますか。 →80歳未満で免許をもっていればよい。 ドライバーに女性が2人いる。 <p>(2) 令和3年度生活支援体制づくり協議体 分科会報告について 【浜名地区の委員より説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業展開についての調査、勉強会はコロナ禍のため、8月～10月の間は会議が開催できていない。

- ・家事支援事業の運営委員会は、コロナ禍で会合が開けていない。運営委員会は役員会とは別組織になっており、今後の活動にいかせるようにしていきたい。
- ・家事支援の利用者やコーディネーターが偏っている。家事支援事業に登録したけれど何の連絡もなく心配している方もいる。
- ・エクセルのマクロを使用して「会計システム」及び「支援内容等の集計システム」を使い、半年分の支払いをした。利用者の個票の出力も完成したが、運用は検討していく。集計システムは、不具合があり現在確認している状況である。

【亀玉地区の委員より説明】

家事支援、買い物支援、子育てサロン、高齢者サロン、居場所について活動状況の報告をする。

- ・家事支援の4月～9月の利用実績は268件。派遣支援員は335人。
- ・買い物支援の販売場所は8月から13ヶ所から14ヶ所と1ヶ所増えている。
- ・移動支援については検討の準備をしている。
- ・大人の居場所の利用実績はイベント中止の影響で昨年度と比較してもかなり減少している。子どもの居場所の利用実績は、前年度とあまり変わっていない状況である。
- ・子育てサロンは8回行う予定が実際は3回となっている。
- ・高齢者サロン「宮口笑いの里」は、11月からスタートできるように準備している状況である。
- ・見守りの見える化は本年度着手する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で遅れている。
- ・家事支援員・買い物支援員は9月から1人増加し61人いる。
- ・中・高校生へのボランティアの働きかけは来年度実施に向けて検討中である。

4 その他

- ・前回の会議の中で質問のあったサロンについて説明をする。

今後の見通し等

次回会議予定：令和4年2月25日（金）13：30～ふれあい交流センター浜北
 次回の議事内容は包括、長寿保険課、市社協で検討していく。